

オーディオ実験室収載

My Sonic Signature Gold の導入(20)

—バッハを聴く(19)—

1. はじめに

前報(2)から前報(4)においてバッハの無伴奏チェロ組曲を聴いてきましたが、前報(3)の CD については聴き洩らしたものがありませんでしたので追加します。

2. My Sonic Signature Gold の試聴方法

試聴方法は、My Sonic カートリッジの試聴(3)と同様です。

【CD】

PHILIPS PHCP-9089 無伴奏チェロ組曲 1 番～6 番 モーリス・ジャンドロン

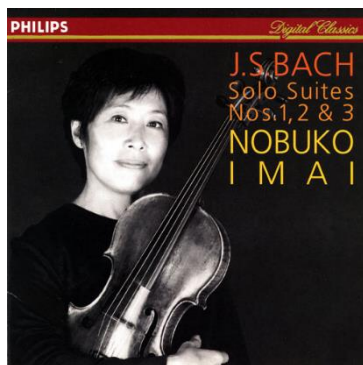


ドイツグラモフォン POCG-10243/4 無伴奏チェロ組曲 1 番～6 番

ミッシェル・マイスキー



PHILIPS PHCP-11057 無伴奏チェロ組曲 1 番～3 番 今井信子



3. My Sonic Signature Gold の試聴結果

ジャンドラン盤は、前報(2)で聴いたアナログ盤のリマスターCD盤で、印象の良かったアナログ盤の味わいが残っています。

マイスキー盤は、緩急と抑揚が激しく、自由奔放な演奏で、あまりの奔放さに違和感すら、感じてしまいます。

今井信子盤は、ビオラへの編曲版です。演奏そのものはしっかりしていて、バッハを聴いているという感触はあるのですが、チェロの演奏よりキーが高いため、やはり別の曲の演奏のように聴いた方がよさそうです。

4. まとめ

ジャンドラン盤が、前報(2)で聴いたアナログの印象を受けて好ましく感じられました。

以上